



## セラミックスの効果によるクリップの酸化速度実験

ペットボトルに「水道水」を入れ、下記条件でクリップの酸化速度を観察。

- 実験条件**
- 検体① 「水道水」250ccにクリップ2枚を投入
  - 検体② 「水道水」250ccにセラミックス(3種類混合)を50g充填し、クリップ2枚を投入
  - 実験日数 / 40日間



明らかに酸化(赤サビ)が確認できた。

酸化(赤サビ)ではなく、黒サビの形成が確認できた。

### 【実験結果】

セラミックスの持つ還元作用により、酸化速度の違いを明確に確認できた。検体①の「水道水」のみに比べ、検体②の「水道水」にセラミックスを充填した検体は、セラミックスの持つ「電子エネルギー」や「還元外観」の効果により、還元作用(物質を還元しにくくする)水質に変化していることが確認できた。

【注】本実験は、セラミックスが水に与える還元作用で、「実験結果」及び「水質」を保証するものではありません。

※上記実験結果は、実測値であり保証値ではありません。



## 原水の水道水とセラミックス活水器JS-500処理水の違いを油分溶解力の測定試験

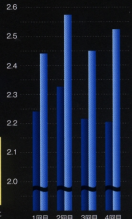
原水と処理水の各1ℓをそれぞれ分液漏斗に取り、これに食用サラダ油各10ml添加し3分間攪拌した。5分間放置後、水相分を800μl取り出し、ヘキサゲン抽出分析法(JIS K0102)に準拠して測定した。油分溶解力の実際は4回行った。

- 試験条件**
- 水温:16℃
  - 室温:21℃
  - pH:7.2

水道水とJS-500処理水の油分溶解力の比較 (g/ℓ)

<表>セラミックス活水器JS-500処理水の水油分溶解力測定結果 (g/ℓ)

	1	2	3	4	平均
原水 (a)	2.24	2.32	2.21	2.20	—
処理水 (b)	2.44	2.57	2.45	2.52	—
b/a	1.09	1.11	1.11	1.15	1.12
流量 (ℓ/min)	18.0	18.6	17.2	19.7	—



### 【試験結果】

<表>に原水の水道水とセラミックス活水器JS-500処理水の水油分溶解力の測定結果を示した。原水の水道水に比べセラミックス活水器JS-500処理水では油分溶解力が4回測定した平均で10%値向上している。

【注】本試験は、日本工業規格(JIS K0102)に準拠したヘキサゲン抽出分析法による測定試験のため、他社製品の測定結果数値と比較できない場合があります。

※上記試験結果は、試験値であり保証値ではありません。



## セラミックス活水器JS-500処理水の飲用に伴う生体状態変化(AMI)測定試験

セラミックス活水器JS-500処理水の飲用前、飲用直後、飲用10分後及び、水道水の飲用直後、飲用10分後の皮膚の変化をブリクアナデーを用いて測定し、生体の状態変化を調べる。具体的には手足に電極を装着し、ごく短時間3Vの電圧を加え、そのとき電極間に流れる電流を測定し、生体の反応を次の2つのパラメーターで評価する。

- BP平均値 (μA) / 体循環電圧及び気の流れのパラメーター
- IQ平均値 (pF) / 生体の防衛機能(免疫力)のパラメーター

- 試験条件**
- 被験者A:(男性・53才)、被験者H:(女性・51才)、被験者Y:(女性・79才)
  - 測定装置:ブリクアナデー(ミサワ電機の皮膚インピーダンス測定装置AMI-100)
  - <装置器具製造業認定番号 (04B) 0768>
  - 処理水及び原水の水道水の飲用量:コップ1杯(200ml)水

### ● 被験者AのAMI測定結果

	飲用前	JS-500処理水 飲用直後	JS-500処理水 飲用10分後	水道水 飲用直後	水道水 飲用10分後
BP平均値	1858	1859	1922	1752	1737
IQ平均値	16390	17600	18440	15680	15460

### ● 被験者HのAMI測定結果

	飲用前	JS-500処理水 飲用直後	JS-500処理水 飲用10分後	水道水 飲用直後	水道水 飲用10分後
BP平均値	1777	1907	1955	1853	1925
IQ平均値	18870	22120	21610	21310	20910

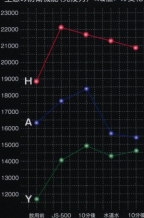
### ● 被験者YのAMI測定結果

	飲用前	JS-500処理水 飲用直後	JS-500処理水 飲用10分後	水道水 飲用直後	水道水 飲用10分後
BP平均値	1535	1592	1711	1624	1676
IQ平均値	11680	14040	14980	14350	14580

JS-500処理水の飲用に伴う体循環電圧及び気の流れ<BP値>の変化



JS-500処理水の飲用に伴う生体の防衛機能(免疫力)<IQ値>の変化



### 【試験結果】

被験者3人の結果では、体循環電圧及び気の流れを表わすBP平均値及び生体の防衛機能(免疫力)を表わすIQ平均値が、セラミックス活水器JS-500処理水を飲んだ後ではかなりの上昇傾向を示している。この結果はセラミックス活水器JS-500処理水が体循環の循環をスムーズにし、気の流れを良くする効果があること、さらに防衛機能(免疫力)を促進させる効果があることがうかがわれる。これに対し水道水は、BP平均値及びIQ平均値を低下させる傾向が見られる。

【注】本試験結果には個人差があります。※上記試験結果は、試験値であり保証値ではありません。